

## 北海道農業法人協会主催のベトナム訪問団に参加して（二〇〇九年十一月）

大塚オーガニックファーム 大塚 裕樹

私は、今回のベトナム訪問には二つの目的を持って参加させていだきました。

一つ目は、世界一安いと言われている野菜用のダンボールの輸入プロジェクトについてです。

まずなぜ今、ダンボールの輸入かといいますと、ここ一、二年で石油の高騰や木材・パルプの世界需要の高まりで、国内での価格が急騰し利益の確保や合理化の停滞により二〇%〜三〇%価格が上がっています。

これは、デフレ下にある日本に於いてユーザーの死活問題であり、多くの資材に頼る北海道の農業法人にとっては大きな問題であります。今、一時的には景気低迷による価格競争で価格は沈静傾向ですが、長期的に資



ベトナム有数のダンボール工場



市場近くの雑踏

源のない日本に於いて価格が上がるものがあっても下がる要素がないのも現実です。

そこで、三、四年ほど前より日本国内や海外での安いダンボールを調達できないかと調べていました。

その中で、ベトナムが資源的にも労働コスト的にも世界一安いという話を聞きましたので、今回この機会を利用して現地視察に参加させていただきました。

工場の設備や品物自体はまったく問題ないものですが、現地での売り渡し価格や輸送費の問題、こちらでも一時ストック場所などまだ解決しなければならぬ問題が山積しています。昨年より、サポーター会員の柳本さんの全面的な協力で今後はテストも含めて将来を見据え



農業省との懇談



農業省との記念撮影



ベトナムの畑

た取組みが必要だと思えます。

二つ目は、ベトナム人研修生の受入についてです。これは、私もまったく勉強不足で今回非常に注目して参加しました。

一緒に参加していました酪農家の方々の中国やフィリピンの研修生の方々を受け入れている体験から多くのメリットやデメリットを聞くことができ、大変勉強になりました。

また、ベトナム人は英語や漢字がまったく通じないことも考慮すると想像していた以上に受入れは難しいなと思います、今後の取組みとしては、より一層の学習が必要だと感じ取りました。

ただ、人口が急激に増えている現状と貧富の差や海外経済に依存している状況を見る限りベトナムの経済はまだまだ発展途上にあるわけで、今後食料問題や資源需要の高まりしだいでは、社会主義国

として存続するかどうかが課題なので、日本の発展の足どりのようには行かないのかなと強く感じています。

ただ、日本人に対して大変良い印象があるようですので、このことは先人各位の努力のお陰なのかと思いました。

結論として、今回労働副大臣と農業副大臣との意見交換会が開催されそれに参加するという貴重な体験ができたことに感謝しています。私のような若輩者にも意見を言う機会をいただき今後の自分の仕事に生かせればと思います関係各位の配慮に本当に深く感謝しております。

今後、この活動が前進することを期待して簡単ではありますが、私の報告にいたします。